

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます（パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です）。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、16名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

住みたいと思える安全なまちづくり

千葉 良秋（令政会）



録画配信の
2次元コード

◆通学路の安全確保

児童生徒の通学路の安全に向け、地区通学路安全検討委員会で、平成29年3月に策定された「通学路整備計画」の令和3年までの整備の内容と進捗状況は。また改善された状況の確認は。
学校教育部長 各学校の通学路において路面標示の設置と塗りかえ、道路標識やグリーンベルトの設置、道路の舗装修繕やカーブミラーの調



通学路安全確保は
何より優先

整などを実施してきた。また、川越地区通学路安全検討委員会で改善状況報告を行い、関係機関との情報共有に努めている。

◆高齢者事故の削減に向けて

高齢者の自動車事故が増加傾向にあるが、加害者や被害者とならないためには「免許証の返納」促進が必要であるが、その方策は。

市民部長 高齢者が加害者・被害者とならないための取り組みは、交通安全指導員による交通安全教室を平成30年度は19回開催し、747人の参加があった。本年度中に、高齢運転者の免許証の自主返納を促進する方策を明確化する。

運転しなくてもよい環境整備は、市内循環バス・茶の花号のさらなる利便性向上のための利用動向調査を実施するとともに、地域の実情に応じた地域コミュニティ交通の導入を図るための調査を実施することとする。

その他のテーマ▶防災・減災は地区防災計画の推進から ▶高齢者が安心して暮らせる安全なまちづくり

食品ロス削減対策を「国民運動」に昇華しよう!

齋藤 誠（公明党）



録画配信の
2次元コード

◆市民に浸透 食品ロス

食品ロス削減の啓発活動の一環としての市民アンケートのその後の実施状況と結果は。
環境経済部長 今年3月に市内の大型食料品店3店でアンケートを実施し、廃棄物減量等推進員51名の協力を得て、買い物客を対象に、食品ロス削減に関する聞き取り調査を行い、280名の方から回答を得た。「食品ロスという言葉を知



さんまるいまる

っていますか」という質問に対して、平成28年9月では71.7%の方が、今回では93.2%の方が「知っている」との回答があり、マスコミ報道などから食品ロスに対する市民の認知度が高まってきたものと捉えられる。

◆みんなで「もやすごみはかるだけダイエット」に挑戦

もやすごみを減量する取り組みの中で、食品ロス削減に特徴的なものは。

環境経済部長 昨年度から食品ロスの削減にも効果があるものとして、新たに「もやすごみはかるだけダイエット」という取り組みを呼びかけている。週2回のもやすごみの日ごとに重さを記録していくことで、重さの要因となっている生ごみの量、特に食べ残しや消費期限切れ食品などの廃棄を意識することで、もやすごみの削減を図るきっかけとなることを期待している。

その他のテーマ▶3010運動を普及させよう ▶フードバンク活動への支援も

水防対策の充実を

大沢 えみ子（日本共産党）



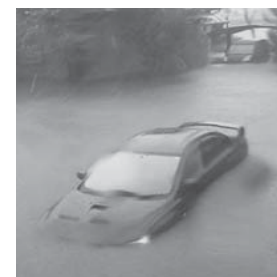
録画配信の
2次元コード

◆水害に備えた対策は

①ハザードマップを活用し、実際に地域で水害の出る箇所などを市民とチェックする取り組みが必要では。

②土砂災害警戒区域、水害想定区域の要援護者数は。また、その方たちへの防災ラジオや電話通信も含めた情報伝達機器の整備状況は。

③旧東中学校を避難所としていた地域の今後の



台風で水没した車両

避難のあり方は。

危機管理監 ①入曽地区は、昨年7月に入曽地区不老川流域風水害訓練を実施し、浸水被害のあった区域を歩き、水防への意識の向上を図った。今後は他地区でも、市が把握している水害想定箇所の情報をもとに、現地災害対策本部となる地区センターと地域住民が水害想定箇所を実際に確認し、水防への意識の向上を図りたい。

②区域内の世帯数6,179世帯のうち、災害時要援護者は1,660人。このうち、避難情報等電話一斉配信サービス登録の意思確認を行った者は456人、実際の登録者は256人で全体の約15%であった。緊急時の情報伝達手段を確保するため、この配信サービスを広げていきたい。

③旧東中学校周辺の住民は、中央中学校や富士見小学校など、近くの学校施設が避難先となる。旧東中学校の避難場所指定解除の手続きに合わせて地元自治会などへ説明する。

その他のテーマ▶国民健康保険税の減免拡充を

交通事故から児童を守る・市営住宅複団地跡地の売却反対!

猪股 嘉直（日本共産党）



録画配信の
2次元コード

◆交通事故から守るゾーン30

全小学校区にゾーン30を指定する手続きは。また、速度規制標識を設置する考えは。

市民部長 通学路の安全を確保する上でゾーン30の指定が有効であると考えられる。将来的には全ての学校区の中で選定要件にかなう箇所に、



雨の中、傘をさした児童が横断歩道を渡る様子

極力、ゾーン30の指定がされるよう、警察と引き続き協議する。また、30キロメートル規制などの標識を設置する手続は、自治会、小中学校からの要望を受け、自動車や児童生徒の通行の状況や交通事故状況を調査した上で、速度規制の実施の是非について埼玉県公安委員会が判断することとなる。

◆市民会館の駐車場の確保

病院への要請と今後の見通しは。

市民部長 イベントなどの開催時には病院の駐車場の借用について協力要請を行うほか、不適正な駐車防止策の依頼に合わせて、市民会館駐車場の確保についても依頼している。

病院が保有や管理する周辺の駐車場などの利用状況を調査し、市民会館が利用可能な駐車場の確保について病院側と検討協議していくが、早期に駐車場が確保できるよう、引き続き病院に要請する。

その他のテーマ▶市営住宅複団地跡地は複合施設に

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313